



平和首長会議ニュース

2018年9月 / 第105号

平和首長会議加盟都市数
163 か国・地域 7,650 自治体
日本国内加盟自治体数：1,730
(2018年9月1日現在)

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

◆ウェブサイト:

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>

◆フェイスブック:

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>

「いいね！」をお待ちしています。

<<今号の内容>>

- ◆青少年「平和と交流」支援事業を実施しました
- ◆国際平和デー(9月21日)記念行事を開催しましょう！
- ◆平和首長会議事務局がフォンゴ・トンゴ市(カメルーン)からインターンを受け入れました
- ◆平和首長会議行動計画(2017年-2020年)に掲げる取組の実施にご協力ください
- ◆被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
- ◆加盟都市の活動紹介
- ◆ヒロシマ発平和関連ニュース(中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事)
- ◆「ヒバクシャ国際署名」への平和首長会議の賛同・協力について
- ◆平和首長会議加盟自治体数: 163 か国・地域 7,650 自治体

■青少年「平和と交流」支援事業を実施しました

[広島市]

平和首長会議では、「広島・長崎への受け入れを組み込んだ青少年『平和と交流』支援事業等の充実」を重点取組項目に掲げ、今後の平和活動を担っていく青少年の育成を推進しています。その一環として、被爆者の体験や平和への思いなどを学び、相互交流を深めてもらうために広島市等が実施している既存事業に国内外の加盟都市の青少年が参加する場合に、その経費の一部を支援しています。また、既存事業のプログラムに加え、平和首長会議の独自プログラムを実施しています。

今年度は、7月下旬から8月下旬にかけて、以下の3つの事業を実施しました。

●HIROSHIMA and PEACE

主催は広島市立大学(国際学部)で、世界中から集まった若者達が、「ヒロシマと平和」を英語で学び、討論する夏期集中講座です。8月上旬に実施された同講座には、平和首長会議の支援を受け、平和首長会議加盟都市9都市から9名の青少年が参加しました。一行は、大学のプログラムに加え、期間中の2日間、平和首長会議が実施する独自プログラムに参加し、平和への取組について意見交換等を行いました。



▼平和首長会議独自プログラム実施の様子(平和首長会議フェイスブック):
[7月31日\(火\)](#) [8月3日\(金\)](#)

▼動画:参加者による派遣元加盟都市の平和の取組発表(平和首長会議フェイスブック、英語):

[東京都三鷹市](#)、[東京都台東区](#)、[岐阜県高山市](#)

[バメンダ1市\(カメルーン\)](#)、[バルセロナ市\(スペイン\)](#)、[グラナダ市\(スペイン\)](#)、[マンチェスター市\(英国\)](#)、[サントス市\(ブラジル\)](#)、[テヘラン市\(イラン\)](#)

た、インターンに被爆の実相についての理解を深め、ヒロシマの平和への思いを共有してもらい、帰国後にそれぞれの都市において世界恒久平和の実現に向けた活動を推進してもらうことを目的としています。

8月21日～9月14日まで、平和首長会議の副会長都市であり、カメルーンにおけるリーダー都市でもあるフォンゴ・トンゴ市から、同市職員のフランク・ブライアン・ゲガン・ソンケンさんをインターンとして受け入れました。ソンケンさんは、「今回のインターンシップを通じて、平和首長会議の業務をより深く知ることができました。また、平和記念資料館や平和公園にある慰霊碑を見学することで、広島の人々が平和を願い、被爆体験を継承しようとしていることを学びました。帰国後は、戦争や核兵器の恐ろしさを多くの人に伝えたいと思っています」と感想を述べています。

今年度末までに、サントス市(ブラジル)、テヘラン市(イラン)、ボルゴグラード市(ロシア)、モントリオール市(カナダ)からのインターンを受け入れる予定です。

▼フォンゴ・トンゴ市からのインターンの活動について(平和首長会議フェイスブック):

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace/posts/1984971501763573>

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace/posts/1988891474704909>


=====
■平和首長会議行動計画(2017年-2020年)に掲げる取組の実施にご協力ください
=====

昨年8月に長崎市で開催された第9回平和首長会議総会において、「平和首長会議行動計画(2017年-2020年)」が策定されました。この行動計画に掲げられた、世界恒久平和の実現に向けた国際世論を醸成・拡大するための取組の推進にご協力ください。

▼「平和首長会議行動計画(2017年-2020年)」(平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/jp/report/meeting/data/9th_meeting/Action_Plan_2017-2020_J.pdf

【取組事例】



**「核兵器禁止条約」の
早期締結を求める署名活動に
取り組んでください**



**平和首長会議原爆ポスター展を
開催しましょう**



**「広島・長崎講座」の普及に
ご協力ください**

=====
■被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
=====

平和首長会議では、昨年の第9回総会において策定された行動計画に沿った取組として、被爆樹木二世の苗木の配付を行っています。小・中学校の平和学習での活用や公共施設の改修にあわせた記念植樹など、平和のシンボルである被爆樹木二世の育成を通じて、市民の平和意識の醸成に取り組んでいただきますよう、ご検討をお願いします。

被爆樹木二世の苗木の配付を希望される場合、所定の申請書をEメール又はFAXにて事務局までお送りください。

※この事業は、通年でやっているため特に申請期限はありません。また、来年度以降も継続して実施しますので、来年度以降の苗木の受け入れについても、是非ご検討いただければ幸いです。

▼Email: kokunai-mfp@pcf.city.hiroshima.jp



**被爆樹木二世の苗木を
育ててください**

▼FAX: 082-242-7452

▼被爆樹木二世の苗木の配付申請書、事業紹介パンフレット印刷用データ等のダウンロード

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort.html#section04>

=====
■加盟都市の活動紹介
=====

*広島市・長崎市 サッカーJ1 広島ー長崎「ピースマッチ」会場でピースアクティビティを実施

広島・長崎の平和記念(祈念)式典から数日後の8月11日、サッカーJ1のリーグ戦サンフレッチェ広島対V・ファーレン長崎の試合が、「ピースマッチ」として平和首長会議などの後援のもと開催され、試合会場のエディオンスタジアム広島には今期最多の2万人の観客が詰めかけました。

キャッチコピーは、「One Ball. One World. スポーツができる平和に感謝」。スポーツを楽しめる平和への感謝とともに、世界をひとつにしたいという願いが込められています。

スタジアムの周辺では、平和首長会議主催のポスター展や平和学習、地元大学生による平和体験ブースの開設など、様々なピースアクティビティが行われました。平和首長会議の松井会長と田上副会長は、ピースアクティビティを共に見て回り、活動を励ましました。また、試合開始前のピッチでは、広島・長崎の被爆者が参列するなか、広島市立広島商業高等学校と長崎市立長崎商業高等学校の生徒による共同平和宣言や、来場者全員による原爆犠牲者への慰霊の念とスポーツができる平和への感謝の意を込めた黙禱、平和祈念ユニフォームを着た松井会長・田上副会長によるキックインセレモニーなどが行われました。



▼「ピースマッチ」及び会場周辺で実施されたピースアクティビティ報告(平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/jp/whatsnew/activity/180914_peacematch_activity.html

*イーペル市(ベルギー) 核兵器廃絶を訴える写真展「50の都市 50の軌跡」を開催

平和首長会議の副会長都市であり、ベルギーにおけるリーダー都市であるイーペル市は、8月16日から9月22日まで、「50の都市 50の軌跡(50 Cities 50 Traces)」と題した写真展を開催しています。

8月16日には、展示会場である博物館でオープニングセレモニーが行われ、イーペル市長やこのプロジェクトのオーガナイザーやアーティスト、市議会議員、市民が参加しました。

1968年に米国、旧ソビエト連邦、英国がNPT(核兵器不拡散条約)に署名してから今年で50年の節目を迎えることを記念して実施されているこの巡回アートプロジェクトは、世界の50都市のアスファルトに残っている様々な痕跡を記録した写真を通して、都市の破壊や核兵器の配備に反対するメッセージを発信することを目的としており、平和首長会議の副会長都市であり、ドイツのリーダー都市であるハノーバー市が積極的に支援しています。

今年から2020年にかけて、世界の50都市(平和首長会議加盟都市)での巡回展示を目指しており、開催を希望する自治体を引き続き募集しています。今後、モントリオール市(カナダ)、ピッツバーグ市(米国)、広島市等での開催が予定されています。

<<貴自治体の平和活動の情報をお知らせください>>

平和首長会議事務局では、新しい行動計画に盛り込まれている平和教育や平和文化等に関する行事实施の情報を募集しています。平和首長会議ウェブサイトの「加盟都市の活動」コーナーでご紹介しますので、記事のタイトル、英語版の有無、リンク先等の詳細を、次のアドレスにご連絡ください。

▼Eメール: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

海外加盟都市の平和首長会議行動計画に基づく取組に関する情報を、以下のリンクからご覧いただけます。

▼平和首長会議行動計画に基づく取組実施都市等一覧(海外)(9月7日現在)(平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/03_newmembers/2018_List_of_Activities_jp.pdf

=====
■ヒロシマ発平和関連ニュース（連載第 47 回）

[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]
=====

第 1 次世界大戦の休戦協定が結ばれ、戦闘が終結してから 11 月 11 日でちょうど 100 年となります。科学技術の進歩を軍事に転用した戦車、航空機による空爆、そして化学兵器。そして兵士だけでなく後方の民間人を巻き込む総力戦の構図。1000 万人以上が犠牲になったこの大戦は、ヒロシマ・ナガサキにつながる大量殺戮と大量破壊兵器の発想が生まれた戦争としても記憶されるべきでしょう。平和首長会議の副会長都市であるベルギーのイーペルは、この戦争で世界で初めて化学兵器が使われた都市です。

ベルサイユ条約で正式に各国が講和した 1919 年は、この大戦の反省から「平和学」という学問が生まれた年だそうです。ことし設立 20 周年を迎えた広島市立大学広島平和研究所の吉川元(きっかわ・げん)所長に教わりました。どうやって平和を維持し、戦争を防ぐか。この 100 年はその模索の繰り返しでした。

その広島市立大学が来年 4 月、大学院に平和学研究科を設置します。被爆地から世界平和に貢献する人材を送り出すため、主に国連職員を含めた行政機関の政策決定に携わる人や、ジャーナリストの育成を想定しています。国内向けには公務員を対象にした社会人制度を設けます。英語による学位取得も可能で、外国人留学生の特別入試を行って平和首長会議加盟都市からの入学も呼び掛けるということです。2 度の世界大戦、そしてヒロシマ・ナガサキの教訓を生かした人材が育つことを期待しています。



中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンターが 8 月からウェブサイトを更新しました。新しい内容として、若い世代の平和学習を支援するために広島の原爆被害や戦後の歩み、世界遺産の原爆ドームや佐々木禎子さんの物語に関することを分かりやすく学んでもらうページを設けました。ぜひご利用ください。

関連記事は次のアドレスで読めます

○平和学研究科の目標は 吉川元・広島市立大広島平和研究所長

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=86078>

○専用ウェブサイト刷新 ヒロシマ平和メディアセンター

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=85462>

○戦争と科学技術 藤原辰史・京都大准教授に聞く

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=79475>

=====
■「ヒバクシャ国際署名」への平和首長会議の賛同・協力について

平和首長会議では、第 9 回総会において策定された行動計画に基づき、「幅広い層の市民の平和意識の啓発」を目的として『「ヒバクシャ国際署名」と連携した『核兵器禁止条約』の早期締結を求める署名活動』を展開しています。

平和首長会議に寄せられた「『核兵器禁止条約』の早期締結を求める署名」と、「ヒバクシャ国際署名」で集められた署名を共に国連関係者に提出することとしています。

▼ヒバクシャ国際署名ウェブサイト:



=====
■平和首長会議加盟自治体数: 163 カ国・地域 7,650 自治体

9 月 1 日付で、18 自治体が加盟し、加盟自治体数は 7,650(163 カ国・地域)となりました。加盟促進に関する皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

日本国内では、東京都中野区が加盟し、国内自治体数は 1,730 都市(加盟率 99.4%)となりました。これにより、東京 23 区の全てが平和首長会議に加盟したことになります。

海外については、テヘラン平和博物館の呼び掛けにより、イランの 6 自治体が加盟しました。また、副会長都市でありカメルーンのリーダー都市であるフォンゴ・トンゴ市の呼び掛けにより、隣接するコンゴの 8 自治体が加盟しました。また、トーゴからチェビエ市が加盟しました。今年 5 月、アフリカ諸国の駐日大使が集うアフリカ外交団月例会議において松井会長が加盟都市拡大について協力を呼び掛けた後、駐日トーゴ共和国

臨時代理大使のご協力をいただき同市の加盟が実現しました。この他、アルゼンチン、ドイツから各1自治体が加盟しました。

引き続き未加盟の近隣自治体や姉妹都市への働き掛けなど、皆様のご協力をよろしくお願いします。

▼9月1日付新規加盟自治体一覧(PDF)

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/03_newmembers/2018/newmembers1809_jp.pdf

▼加盟自治体マップ

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/membercity/map.html>

*** 本メールニュースに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください***

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1-5

(公財)広島平和文化センター 国際部 平和連帯推進課

TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp